

産経
×
防災

「産経×防災」プロジェクト
2026年度 年間提案書【Vol.2】

2026年7月

産経新聞社

ご協賛のご案内

“もしも”ではなく、“いつか”「あなたの近く」で間違いなく起こる災害に”今“備える

近年、地震や台風、豪雨、火災などの災害が頻発し、その影響は社会全体に深刻な影響を及ぼしています。被害を最小限に抑え、迅速かつ適切な対応を行うためには、正確な防災情報の共有と、国や自治体、企業、市民が一体となった防災意識の向上が不可欠です。

産経新聞社は、メディアとしての社会的使命を果たすとともに、企業や自治体の防災対策を情報発信の側面から支援するため、「防災」をテーマに全社一丸となって取り組んでいます。

編集局とメディアビジネス局が連携し、最新の防災技術や政策、自治体・企業の取り組み、災害時の対応策など、実践的な情報を発信。紙面特集や定期コラムのほか、「防災のきっかけコミュニティ」をもとに防災の意識調査や、防災への意識の醸成を行います。また、企業や自治体の防災対策に関する情報アップデートを加速させる「防災DXセミナー」など多角的な施策を展開し、企業・自治体・消費者をつなぐ場をご提供いたします。

本プロジェクトは、防災に関する最新情報の発信だけでなく、協賛企業の皆様が持つ技術・サービスを広く社会に発信し、防災市場の活性化につなげる機会でもあります。貴社の取り組みを社会に示し、自治体や企業との新たなビジネス機会を創出する場として、本プロジェクトをぜひご活用いただけますと幸いです。

防災分野のよりよい未来を築くために、産経新聞社は、貴社とともに社会の安全・安心を支える取り組みを推進してまいります。

何卒企画内容ご賢察のうえ、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

産経新聞社

近年、地震や火事、台風、豪雨など、自然災害の発生頻度とその影響が増加しており、私たちの生活に大きな影響を与えています。

こうした中、社会全体で防災の機運を高め、もしもの時に迅速かつ的確に行動できるような情報の重要性が増しています。

産経新聞社は、こうした社会課題に対応すべく、編集部門やメディアビジネス本部などが連携した「産経×防災」プロジェクトを強力に推進しております。

プロジェクトでは、日々進化する防災技術や最新の防災政策、災害時の心得、国や自治体の抱える課題、防災市場動向など幅広い防災情報を読者やユーザーに向けて発信するほか、セミナーなどのイベントや各種媒体での定期的かつ継続的な展開を通じて、防災に関する社会全体の意識向上を目指します。

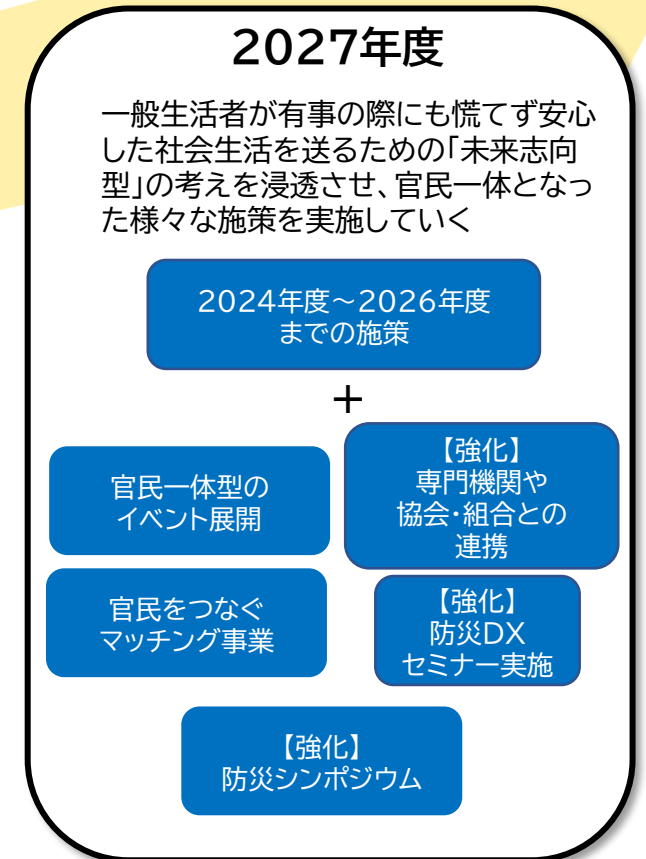
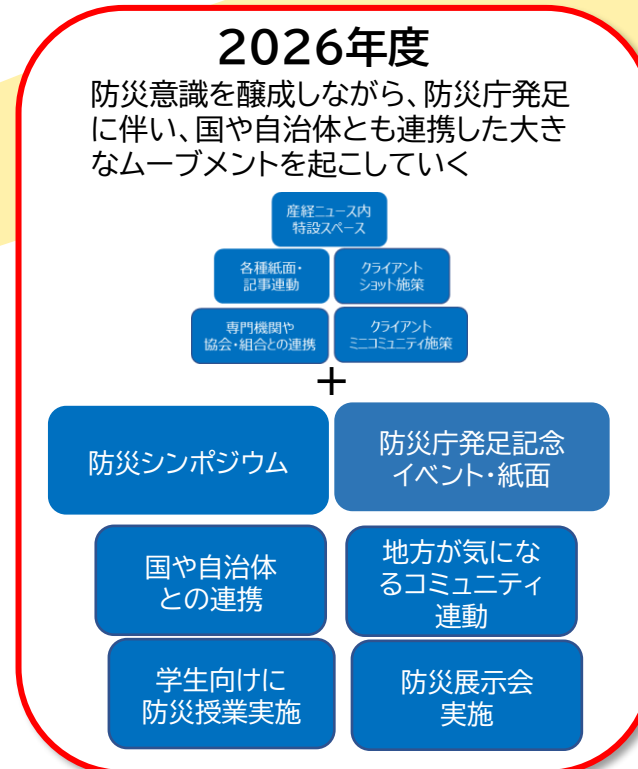
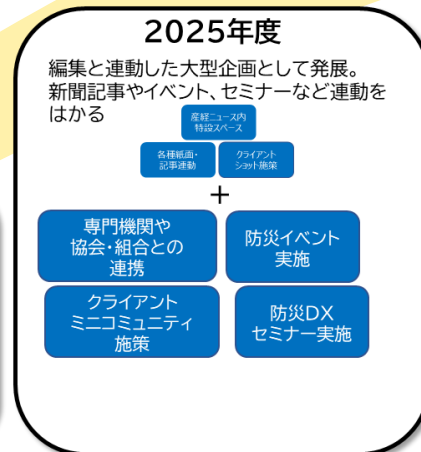
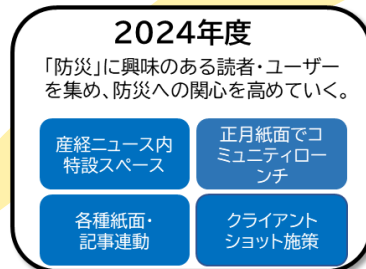
BtoC、BtoB両面でのアプローチが可能な多彩なアセットをご用意しておりますので、企画趣旨及び内容をご賢察いただき、ご協賛賜れますと幸いです。

産経×防災プロジェクト拡大構想

- ・ 2024年度元旦(2025.1.1)コミュニティオープン。賛同するクライアントを集め、編集も巻き込んだプロジェクトとしてローンチ
- ・ 紙面・産経ニュースについて「産経×防災プロジェクト」の共通ワッペンをつけて整理、コンテンツを拡大。コミュニティ内にもRSSでニュース提供
- ・ 「1.1」、「1.17」、「3.11」、「4.14」「防災の日」ほか、日々発信される防災関連記事と連動を実施

【今後の展開予定※一部抜粋】

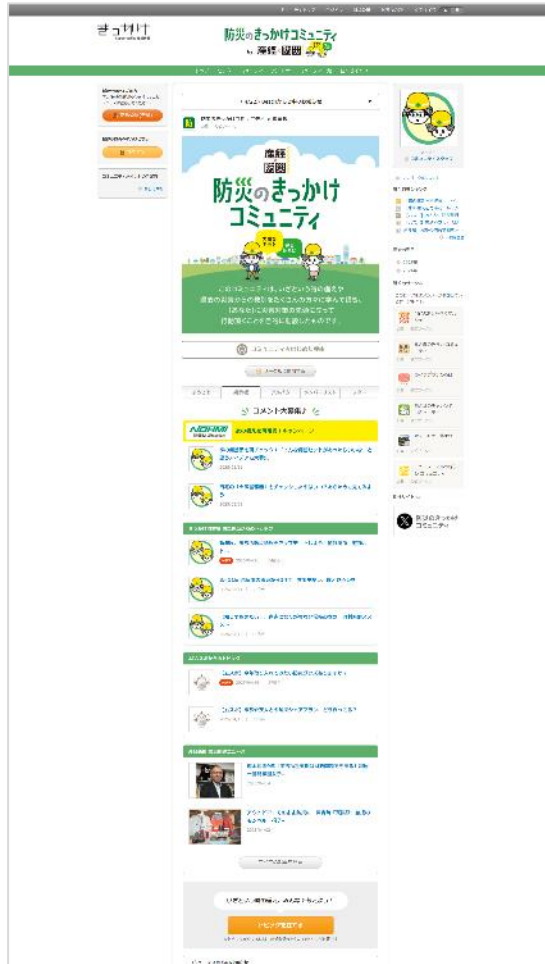
- ・ **9月(防災月間)、秋(11月)の「防災庁」設置を大きな流れととらえ、官民連携のイベント実施など、大型展開を予定**
- ・ 地方が気になるコミュニティほか、「きっかけ」内他コミュニティとの連動をはかる
- ・ 防災セミナーや学生向け防災授業、防災庁発足記念事業など、プロジェクト連動型のイベント、アウトプットを実施していく
- ・ 復興クラファンや、防災白書公開、コミュニティ発の防災セット販売など、読者・ユーザーとの共創を行う
- ・ 国や自治体、団体、専門機関などとの連携をはかる



現在までの展開

「産経×防災」プロジェクトでは、さまざまなメディア、切り口で防災情報を発信しています

防災のきっかけコミュニティ



正月分冊防災特集



震災特集紙面



編集記事

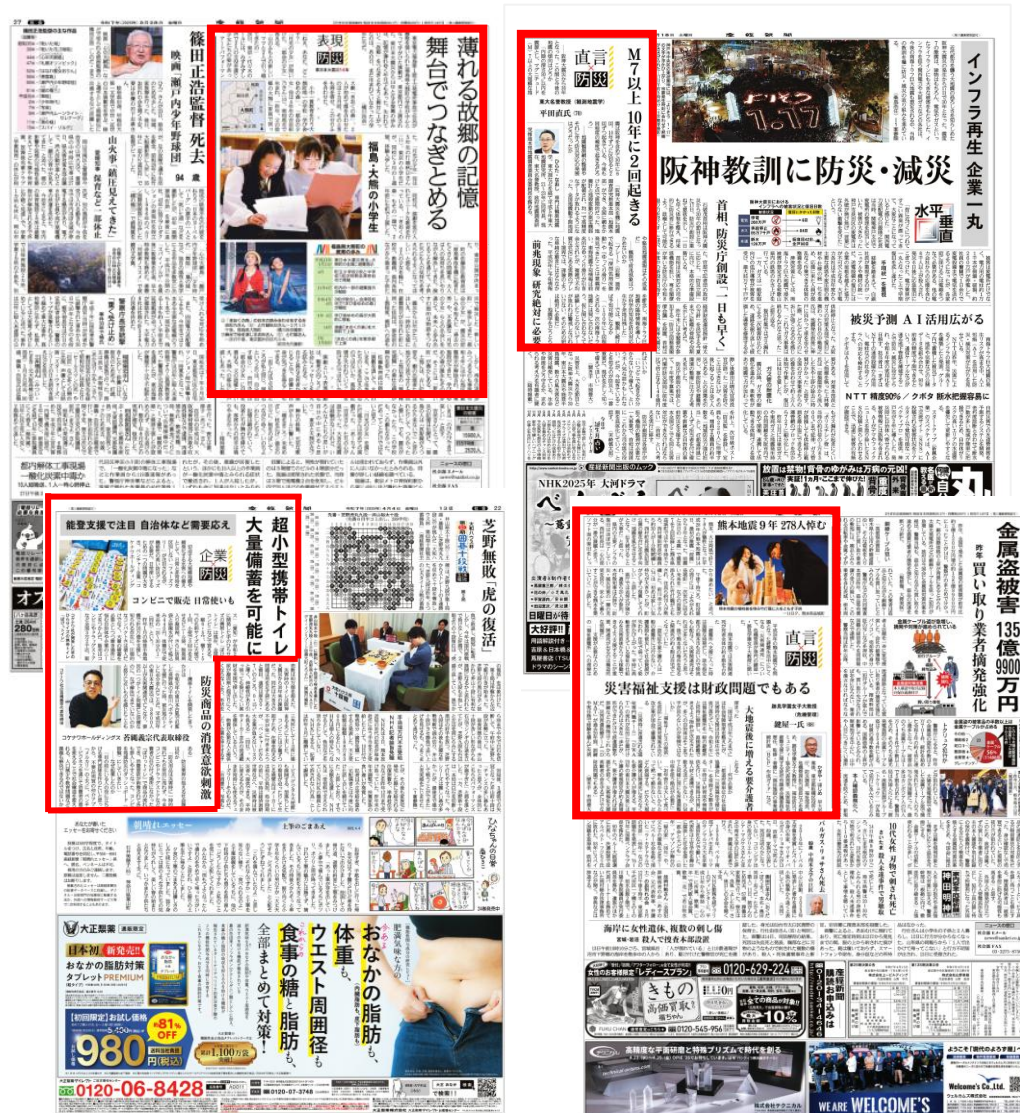


産経ニュース特設ページ



<産経×防災シリーズ特集 ●●×防災>

※月1回程度のペースで掲載中



<コミュニティ連動コラム「美味×防災 withきっかけ」>

※2025年7月開始



防災において関心の高い「食」分野にフォーカス。ローリングストックに役立つ、防災における食トレンドのほか、非常時の食にまつわる役立つ知識、非常食を使ったレシピなどをご紹介します。「防災のきっかけコミュニティ」で交わされるユーザーのコメントを交えてお届けします。



2026年度 年間施策カレンダー(現在案)



★9月(防災の日/月間)、秋(防災庁の設置)を年度提案の中心として展開予定

- ・1か月に1回程度の頻度で、「●●×防災」の編集記事展開を実施
- ・クライアント様のご希望に応じて、各種カスタマイズ展開を随時構築してまいります
- ※今後随時、トピックスおよびアセットを更新してまいります

産経×防災 産経新聞社の注力アセット一覧

貴社の課題解決のため、産経新聞グループの持つさまざまなアセットを組み合わせでご提案可能です。
貴社の課題解決に最も効果的にアプローチできるプランをご提案いたします。

toC向け企業様

【企画①】メトロポリターナ 巻頭特集



メトロポリターナ9月号の巻頭特集では、中心的な読者ターゲットである20～50代の働く女性に対して「女性特有の防災の備え」といった切り口での展開を予定。広告主様の取り組みをタイアップという形で幅広い方にお届けいたします。

【9月防災月間】10日～19日配布

toC向け企業様

【企画②】産経新聞特集紙面



産経新聞では、その時々の特ピックスに合わせた防災対策を考え、その最前線を知ることのできる情報を定期的に発信いたします。注目度の高い特集紙面対向、紙面下での広告出稿をぜひご検討ください。

**【9月1日】防災の日
【12月】フォーラム採録**

toB向け企業様

toC向け企業様

【企画③】「産経防災フォーラム2026(仮)」へのご協賛



我が国の防災・減災対策における歴史的転換点となる「防災庁設置」を契機としてとらえ、貴社のお取り組みをアピールする機会を創出いたします。

【12月】上旬開催(予定)

toC向け企業様

【企画④】「防災」をテーマにしたインフルエンサー招聘型体験イベント



貴社ご希望の属性にて「防災」に興味関心を持ったインフルエンサーの方々をアサインしたイベントを企画。貴社サービスの訴求を講演型/体験型で行う機会を醸成致します。

【ご希望に合わせて】2026年度中

toB向け企業様

toC向け企業様

【企画⑤】産経ニュース連動施策



産経ニュースでは、災害報道に留まらず様々なクライアント様の取り組みを日々発信しております。一人ひとりが災害について学び、自分事として防災に取り組む大切さを考える機会を、記者が執筆する第三者目線の広告コンテンツとして発信し、注目度を高めます。

【ご希望に合わせて】2026年度中

toB向け企業様

toC向け企業様

【企画⑥】産経ニュースYOUTUBEチャンネル



広告主様の「防災」に関するお取り組みや考え方などを取材した動画の制作を実施。さらに新聞社の中でもフォロワー数の優位性が高い「産経ニュースYOUTUBEチャンネル」での配信までを一気通貫で実施。ご希望に応じて、弊社記者をモデレーターとして構えた展開なども提案が可能です。

【ご希望に合わせて】2026年度中

【企画①】メトロポリターナ巻頭特集

メトロポリターナ9月号では、「防災」を巻頭特集のテーマとして展開いたします。
一人ひとりが災害について関心を持ち、自分事として防災に取り組む大切さを考える機会を創出し、注目度を高めます。

【企画概要】

掲載号:2026年9月号(10日~19日に東京メトロラックにて配布)

巻頭特集(8P)テーマ案:①都市防災 ②ローリングストック ③ペット防災 など

広告枠:巻頭特集と連動した形での貴社タイアップページ



■特集イメージ(仮)

■スケジュール(案) ※タイアップの場合

【実施可否締切】2026年7月中

【オリエン・取材】8月上旬

【校了】8月末

【掲載】9月10日~19日

■タイアップイメージ(仮)

※特集およびタイアップのデザインはイメージです
取材・オリエンにより文字要素を追加いたします

ご協賛金額

1ページあたり 1,400,000円(税別・制作料込)

【企画②】産経新聞特集紙面「防災の日」

【企画概要】

掲載媒体:産経新聞全国版 朝刊(※一部東京本社版のみの掲載の場合あり)

掲載日:2026年9月1日付

内容(案):現在編集局含めて検討中

体裁(案):貴社担当者へのインタビューや対談/鼎談など

広告枠案:・全15段カラー×1枠
・全5段カラー×2枠

※一部エリアがモノクロ掲載になる場合があります。

オプション:記事体広告も可能です。弊社営業担当へご相談ください(※制作費は別途)



■スケジュール(案) ※記事体広告の場合

【実施可否締切】2026年7月中

【オリエン・取材】8月上旬

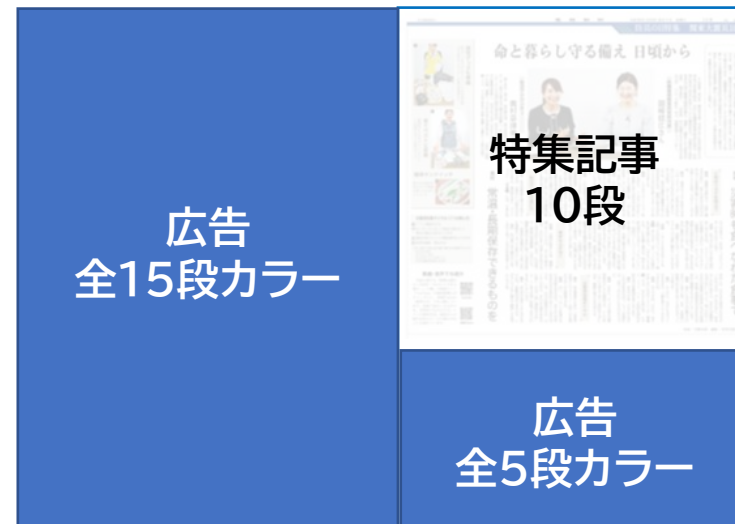
【校了】8月中下旬 ※掲載2営業日前までに完全入稿

【掲載】9月1日付

【紙面体裁】

※体裁は変更になる場合があります。

※記事部分の事前の確認・校正はできません



ご協賛金額

全15段カラー ●●●●円(税別)

全5段カラー ●●●●円(税別)

※決定優先 ※1回あたりの料金になります

※制作料は別途見積りいたします

【企画③】「産経防災フォーラム2026(仮)」へのご協賛

今年11月に予定されている「防災庁」の設置は、我が国の防災・減災対策における歴史的な転換点となります。
この大きな節目に際し、産経新聞社では、新たな防災体制の意義を広く発信し、これからの社会に求められる防災のあり方を展望する『産経防災フォーラム2026(仮)』を開催する運びとなりました。
この場が社会全体の防災に関する意識の向上や過去の自然災害を風化させないための一助になればと存じます。
常日頃より災害対策に向き合われている企業様や防災関連ソリューション等を展開されている企業様にとっては、自社の先進的な取り組みや社会貢献活動をアピールする絶好の機会となります。
つきましては、我が国の防災を牽引する貴社に、本フォーラムへのご協賛およびご登壇を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

タイムスケジュールと協賛講演枠

※構成や講演枠、時間は変更になる場合がございます。
プログラムが短縮・延長される場合もございますのでご了承ください。



▼想定登壇者

13:00	☑ 来賓挨拶(10分)	候補: 政府・防災庁関係者
13:10	☑ 基調講演(20分)	候補: 政府・防災庁関係者、識者(防災庁の設置意義など)
13:30	企業講演(30分) ダイヤモンドスポンサー講演	協賛社様
14:00	企業講演②(20分) ゴールド(orブロンズ)スポンサー講演	協賛社様
14:20	企業講演③(20分) ゴールド(orブロンズ)スポンサー講演	協賛社様
14:40	企業講演④(20分) ゴールド(orブロンズ)スポンサー講演	協賛社様
15:00	休憩(10分)	
15:10	☑ 特別講演(20分)	候補: 識者による企業間や産官学金民での防災関連の連携取組事例
15:30	☑ 特別講演①(60分) パネルディスカッション 企業・地域・行政の防災連携のあり方(仮)	【登壇者】 ・協賛社より各社1名ずつ ・識者 or 政府・防災庁関係者 ※日程調整の上、都内スタジオでの事前収録を想定。

▼講演資料とアンケート

フォーラム終了後のアンケート回答者のみ、各講演の資料をDLできます。
またアンケート取得(任意回答)も可能です。

※資料DL、アンケート回答有無をリード情報に付与します。

▼見逃し配信について

事前申し込み者限定で、後日見逃し配信を行う予定です。

▼配信動画について

当日配信する動画は全て事前収録対応を想定しております。
収録方法等は別途相談。

- ・BtoBリードのご提供
- ・フォーラム セッション登壇枠
- ・フォーラム内 パネルディスカッションご登壇
- ・LPでのロゴ掲載
- ・産経新聞紙面採録
- ・産経ニュース採録

ご協賛金額

2,500,000円(税別)～

※詳細別企画書をご参照ください

【企画④】「防災」をテーマにしたインフルエンサー招聘型体験イベント

「自社の防災の取り組み・商品をどうPRしていけばよいかわからない」、「効率よく・温度感高くPRしたい、してもらいたい」とお悩みの企業様に対して、企業様施設での講演型と体験型展開をセットにしたイベントを構築、一般生活者を代表するインフルエンサーが情報発信を行うことに加えて、産経新聞グループメディアでの露出を行い、幅広いリーチ獲得を目指します。

概要

スペシャルアンバサダー、マイクロインフルエンサー30名、貴社取り組みや商品に関連性のある有識者を招き、貴社の「商品やサービス」を深く理解するためのセミナーを開催。
貴社担当者とのトークセッション等のコンテンツでインフルエンサーへ訴求します。
セミナー後には、マイクロインフルエンサーのPR投稿&メディア掲載で多角的に貴社の「商品やサービス」について情報発信をします。

目的

PR投稿&メディア掲載で貴社取り組み・商品を多角的に情報発信。セミナー以降も持続的にオーガニック投稿してくれる貴社のアンバサダー候補を創出します。

日時 / 出展枠

2026年8月～1月 **土日でご調整**（申込締切：原則2か月前）※応相談
午前の部 11:30～13:00 / 午後の部 14:30～16:00

場所

六本木ヒルズゲートタワー（予定）※**その他の会場につきましてはご相談ください**

インフルエンサー人数

30名想定（合計40万fw～）/1コマ

インフルエンサー

貴社にあったインフルエンサーをアサイン
・スペシャルアンバサダー 1名
・有識者など 1名 ※応相談
・インフルエンサー 30名

内容

1. 商品ブース設置
2. 企業セミナー60分（有識者によるトークセッション40分※1）
3. インフルエンサー交流30分（質疑応答&ブース撮影）
4. お土産サンプリング 後日Instagramフィード投稿※2
5. メトロポリターナ 採録誌面（イベント紹介）または タイアップ1P
6. metropolitana tokyo (WEB)掲載（貴社単体掲載）
7. レポート：セミナー・インフルエンサー投稿

+α. 産経新聞「知っ得News」および産経ニュースでの記事配信（貴社単体掲載）

↳※特別サービスの露出となります

協賛費

4,000,000円(税別)～

※1 有識者によってはアサインコストが前後いたしますのであらかじめご了承ください

※2 お持ち帰りいただいた商品を撮影、商品がない場合はブースの撮影となります

※3 タイアップ投稿では貴社アカウント、もしくはグリーライフエックスのアカウントを設定いたします

【企画⑤】産経ニュース連動(スポンサードコンテンツ)

編集記事の機能を活用し、ニュースサイトならではの
“読まれる記事”を“読まれる仕組み”で提供

さらに、運用型広告でターゲット層の集客を強化できます

PCからの導線



スポンサードコンテンツページ



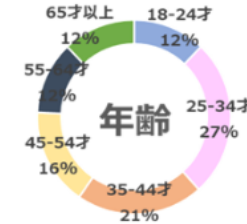
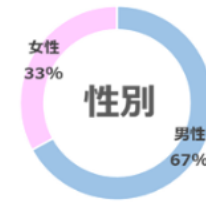
見出し及び本文に **Sponsored** マークを表示

※参考

産経ニュース メディアプロフィール

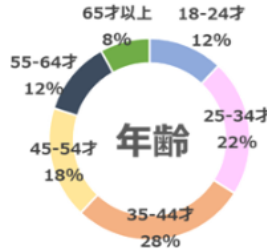
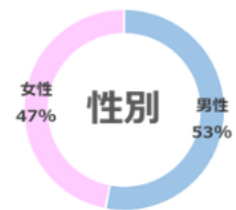
PC 2,254万 PV
362万 U.U

2020年10月~2021年9月 Google Analytics



SP 3,600万 PV
1,783万 U.U

2020年10月~2021年9月 Google Analytics



体裁(案):

貴社担当者へのインタビューや対談/鼎談、貴社コンテンツの視聴促進など

■スケジュール(案)

【実施可否締切】掲載2か月前

【オリエン】掲載開始希望日の2~1.5カ月前

【取材】掲載開始希望日の1.5~1か月前

【校正】1か月前~2週間前、校正2回程度

実施概要	掲載料金
3万PV想定 (4週間誘導) ※取材、制作費、レポート費含む ※記事アーカイブは6か月保証 ※タグ設置10万円、パラメーター付与可	300万円 (グロス・税別)
1万PV想定 (2週間誘導)	150万円 (グロス・税別)

【企画⑥】産経ニュースYOUTUBEチャンネル

産経ニュースYoutubeチャンネルでは、各企業様の防災に対するお取り組みや施策に込められた思いなどを取材のうえ、
動画制作・配信までを一気通貫で担わせていただきます。

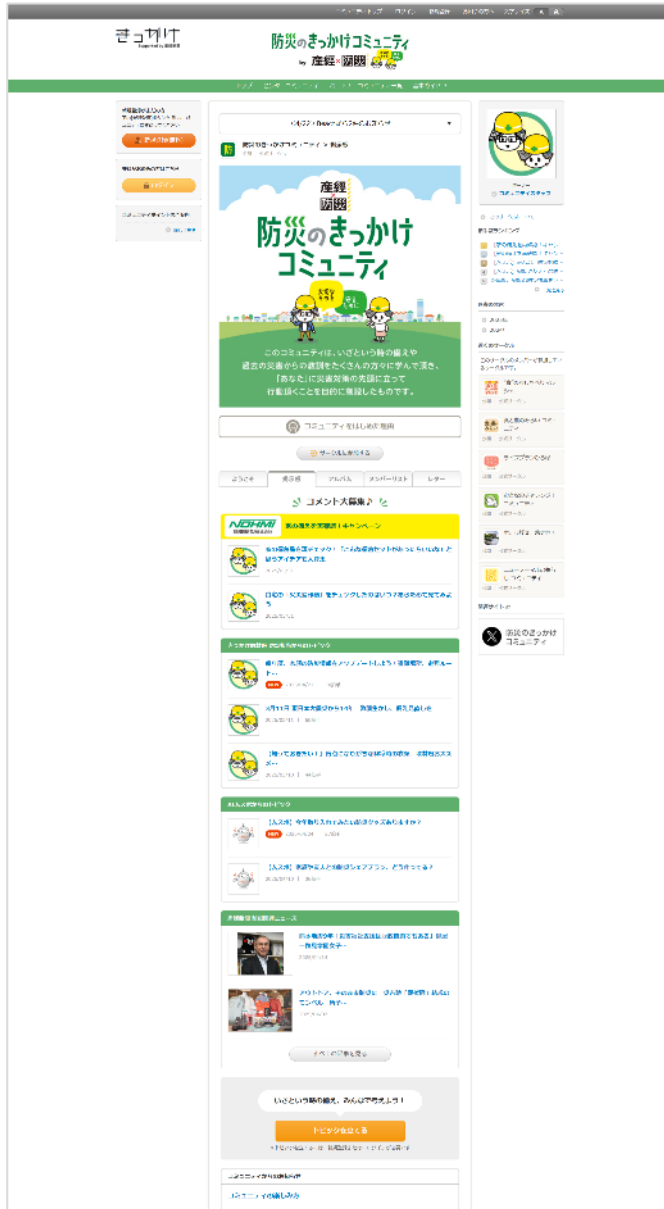
ご希望に応じて、編集局記者をモデレーターとしてアサインした形での貴社ご担当者インタビューなどの体裁も調整させていただきます。

動画内容	・社員様インタビュー ・社員様一日密着 ・有識者対談 - など
制作内容	・YouTube用動画制作（15分～30分程度） ・告知用ショート動画制作（1分程度）
配信場所	産経ニュース YouTubeチャンネル http://www.youtube.com/@SankeiNews 登録者数：約67万人（2026年1月時点）
レポート	4週間後 ※動画の公開期限は応相談
料金	4,000,000円(税別)～ 動画内容、ロケ日数等により決定 ※遠方（片道1.5H以上目途）や宿泊を伴う収録の場合は交通費別途 ※ゲストのキャスティング費は別途

動画イメージ



■その他アセット(例)



防災のきっかけコミュニティ -大切なものを守るために-

産経新聞社とクオンが運営する、インターネット上で会員同士が対話を楽しむオンラインコミュニティ「きっかけ」は、防災について語り合い、継続的に災害対策を考える「防災のきっかけコミュニティ」を、2025年1月1日にオープンしました。

【コミュニティURL】<https://www.beach.jp/community/BOUSAI>

本コミュニティでは、過去の災害から得られる教訓を学びながら、日頃どんな防災対策を行うべきか、アイデアや経験などを語り合うことができます。防災にまつわるさまざまなテーマについて語り合うことで、防災を「自分事化」し、意識を高めていく場となります。

from:りこぴんさん

3.11の前後は震災のニュースがたくさん流れ、たくさん涙も流れました。たくさんの教訓を受けましたが、教訓や訓練を無視して行動したとっさの判断で災害を免れた事例も見聞きました。実際に体験しないと自分はどんな行動をとるのかわかりませんが、訓練を受けることと備えあって憂いなしは間違いないと思っています。

from:inakoさん

車のタイヤは毎年スタッドレスに交換しています。降雪後、アイスバーンとなった路面でブレーキを踏んでも利かなかったことがあり、その時は一度、ブレーキから足を外し、ゆっくり踏んでブレーキを利かせ、回避しました。前車との車間距離がある程度ないと追突したかもしれません

From:わさびさん

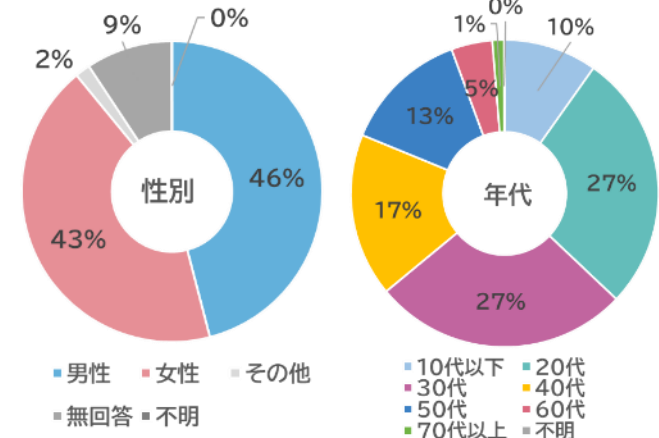
お水が一番大事になると思うので、必ず2〜3箱はストックしています。非常食は、ローリングストック。日常食べられるものを購入。車のトランクに、数日分の着替えをリュックにつめてあります。

from:みかさん

とりあえず家族4人が数日生活できるかな？という食料品は備蓄するようにしています。温めなくても食べられるレトルトや、子どもの好きなお菓子系など。そういえば実家の両親が備えをしているかは…ちゃんと聞いたことがなかったなあ。離れているからこそ、いざという時のことちゃんと一度話してみようと思います(^)

登録ユーザー

幅広い年代の方にご参加いただいておりますが、特に20〜40代のユーザーが多いのが特徴となっております。



復興×イベント魚祭りを活用した出展展開

東日本大震災からの復興応援を目的に、「常磐もの」と呼ばれる福島の水産物を使った料理が味わえる「発見！ふくしまお魚まつり」(主催・発見！ふくしまお魚まつり実行委員会)を年3回、累計来場者数が250万人に上る日本最大級の魚介グルメフェスティバル「SAKANA&JAPAN FESTIVAL(魚ジャパンフェス)」と同時開催をしております。当イベントでのパネル展示といった出展と、ステージイベントプログラムでの展開を通じて、貴社の「防災」や「復興に向けた取り組み」をPRさせていただきます。

SAKANA&JAPAN FESTIVAL(魚ジャパンフェス) 2026 in 万博記念公園	
主催	SAKANA&JAPAN FESTIVAL実行委員会
後援	水産庁(前回実績)
開催期間	2026年10月2日(金) 9時半～17時 3日(土) 9時半～17時 4日(日) 9時半～17時 ※営業時間は予定
会場	万博記念公園 お祭り広場
総店舗数	約40～50ブース
来場者見込み	約5万～7万人
入場料	500円(予定) ※別途、公園入園料が必要です。

SAKANA&JAPAN FESTIVAL(魚ジャパンフェス) 2026 in お台場	
主催	SAKANA&JAPAN FESTIVAL実行委員会
後援	水産庁(前回実績)
開催期間	2026年12月4日(金) 10時～18時 5日(土) 10時～18時 6日(日) 10時～18時 ※営業時間は予定
会場	お台場青海地区P区画 特設会場
総店舗数	約70～80ブース(同時開催イベントを含む)
来場者見込み	約15万～20万人
入場料	無料

SAKANA&JAPAN FESTIVAL(魚ジャパンフェス) 2027 in 代々木公園	
主催	SAKANA&JAPAN FESTIVAL実行委員会
後援	水産庁(前回実績)
開催期間	2027年2月19日(金) 10時～20時 20日(土) 10時～20時 21日(日) 10時～20時 22日(月) 10時～20時 23日(火・振替休日) 10時～18時 ※営業時間は予定
会場	代々木公園 イベント広場B～けやき並木
総店舗数	約80～90ブース(同時開催イベントを含む)
来場者見込み	約15万～20万人
入場料	無料

【3大会パッケージ協賛プラン(概算)】【1大会単独協賛プラン(概算)】 いずれも各営業担当者にご相談ください

※貴社のご希望に合わせてメディアプランを組み合わせたりなど、カスタマイズした提案が可能です

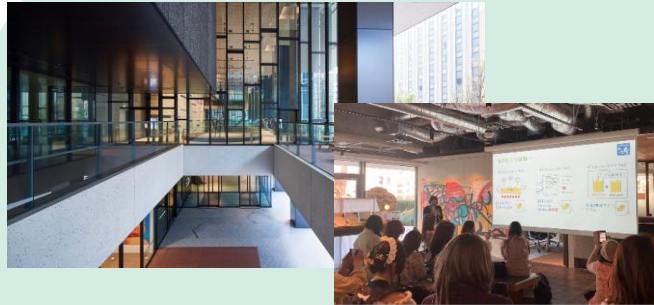
■包括提案(パッケージ)について

■防災月間 イベント×産経新聞グループメディア企画(案)

①各種媒体での 事前告知

- ・産経新聞記事下枠
- ・メトロポリターナイベント枠
- ・防災のきっかけコミュニティ
「きっかけのきっかけ施策①」

②「防災」をテーマにした 講演+体験(防災訓練など)イベント



主催:産経新聞社 特別協賛:貴社 ※ご相談
・日時:2026年9月中
・プログラム(案)
1部:講演型 2部:貴社技術施設の見学や実訓練
※リアル展開を想定しているが、オンライン配信や
編集動画を後日配信/納品することも可能

③「防災の日(月間)」に合わせた メディアでの情報発信



- ①産経新聞全国版朝刊 15段カラー 純広告
掲載日:2026年9月1日付(想定)
- ②メトロポリターナ タイアップ展開
掲載期間:9月10日~19日
- ③ ②参加のインフルエンサーからの
フィード投稿
※校正スケジュールを見ながら調整

④各種媒体での 採録展開

- ・産経新聞全国版朝刊
記事体広告 15段カラー
- ・産経ニュース
スポンサードコンテンツ
- ・防災のきっかけコミュニティ
「きっかけのきっかけ施策②」
- ・簡易分析結果の納品

【企画パッケージ料金】 各営業担当者にご相談ください

※貴社のご希望に合わせて、単発メニューでの実施など含めてカスタマイズした提案が可能です
※9月「防災月間」での展開を想定しておりますが、貴社の打ち出したいタイミングに合わせた展開も可能です